

災害時の避難支援と児童相談所活動

大阪府立大学 地域保健学域 教育福祉学類
伊藤嘉余子

本日の発表内容の情報元

- 平成23年度厚生労働科学研究「災害時における児童福祉職員の派遣システム及び児童相談所福祉活動に関する研究」(主任研究者:才村純)

<明らかにしたかったこと>

- 災害時の児童福祉サービス(活動)の展開のあり方
 - 孤児等の発見・保護
 - 避難所運営
 - 施設入所児の避難支援等
- 平常時から必要な備え

災害時における児童相談所活動

○ 児童福祉司の活動



- 児童心理司による心のケア
- 避難所での子どもの居場所づくりや学習支援
- 保育士による巡回保育と巡回子育て支援

避難所運営で課題となったこと

- 暖の確保
- 不衛生な環境の改善
- 乳幼児を抱える家族への支援
- 障害児とその家族への支援
- 障害・疾病のある児・者への支援
- 相談窓口の設置の必要性
- 避難者同士の意識の変化への対応
- 子どもの居場所・遊び場の確保や学習支援
- 孤児・遺児の発見と保護

平時からの備えとして必要と思われる内容

- 衛星通信施設(衛星電話)の整備
- 通信断絶を前提とした対応マニュアル作成
- 事前の児童相談所間(自治体間)における「災害支援協定」の締結
- 食糧、水、ガソリン、衣料品などの備蓄
- 児童相談所職員の災害対応訓練
- 震災に備えたパンフレット等PR活動
- 記録管理の工夫(紙ベースと電子データ)
- CRT(クライシス・レスポンス・チーム)の準備・拡大
- 「孤児調査マニュアル」作成

児童相談所(一時保護所・児童福祉施設を含む) で必要と考えられた備蓄リスト

食糧、飲料水、衣料品(タオル、スタッフ用作業衣、雨具)
寝具、簡易トイレ、トイレトーパー、衛生用品、
救急用医薬品(消毒液、担架など)、
工具(シャベル、ヘルメット、ロープ、テント、はしごなど)
携帯ラジオ、防災無線、懐中電灯、発電装置、電池、燃料、
石油ストーブ、携帯カイロ、自転車、タイヤ空気入れ、
文房具、腕章(職員であることがわかるように)、
緊急車両であることがわかるステッカーなど

支援者へのサポート体制

- 移動手段と宿泊場所の確保
- 支援内容・場所・記録・報告などシステムの整備
- 1日終了後、支援期間終了後のフィードバック
- 支援者の健康管理
- 支援者のメンタルヘルス

支援者の健康管理の留意事項

- 1) 被災地の状況や援助活動などについて詳しく情報提供する
- 2) メンタルヘルス専門職を支援者支援にも活用する
- 3) 支援者のストレス反応に注意する
- 4) ストレス反応は精神力や能力とは無関係であることを支援者にきちんと伝える
- 5) 休憩時に一人になれる場所、または話し相手、飲み物、食べ物、服や風呂など適切に用意する
- 6) 毎日報告会をもち、現場の意見を集約して次回に備える
- 7) 援助の第一線で働いた人はもちろん、事務職やコーディネーターにあたった人にもきちんと評価とねぎらいを与える